

笑う門には福来る。

松山市勝山町1-18-10
(株)日本交通社
TEL(089)946-3911
発行人: 中村剛志

秋の夜長

二十三日は秋分の日です。昼と夜の長さがほぼ同じになり、今日を境に夜の時間が徐々に長くなっています。

日本では旧暦の九月を「長月」と呼びました。現在の暦では十月から十一月にかけての時期にあたります。長月の語源には諸説ありますが、「夜が長くなる月=夜長月」が転じて長月となつた、という説が一般的なようです。

また、秋分の日の前後三日間は「秋の彼岸」にあたり、この時期は一般的にお墓参りをする風習があります。

地域差はありますが、「暑さ寒さも彼岸まで」といわれます。この頃には、夏の暑さが和らぎ、涼風が立ち始め、比較的過ごしやすくなっています。

夕方から夜にかけて、草むらに秋の虫がすだき始めるのも、ちょうど今頃です。そろそろ衣替えの時期にもなってきます。

四季のある日本では、季節によって様々な風習や文化が生まれ、今日まで伝えられてきました。今日をきっかけに、季節の変化に心を向けてみませんか。

※すだく…虫などが集まってにぎやかに鳴く

明朗・愛和・喜動



あれもだめこれもするなの公園に

野球の声して心浮き立つ

このベンチ防空壕のようだなと
星野が吠えた球場在りき

八木健さんの川柳アート



宇和ちゃんの啖呵!!短歌

保親さんの人生万感

段畑に人参大根の種蒔きて
姫は生きる明日を信じて
亡き母の優しき笑顔偲びつつ
秋の彼岸に墓石をあらう

秋川保親さんは東予市生まれの八十四才。
「必要とされる企業人」など中小企業応援
の著書多数。

道しるべ

○頂を極めるのは一歩一歩の歩み
千里の道も一歩から。「今日一回」を繰り返し続ける。
それが成功に至る一番の近道。